

# その他の一般会計事務事業

## 広原地区及び谷和地区タクシー運行補助事業

《担当：市民課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	474	0	0	0	474
17年度	502	0	0	0	502
18年度	448	0	0	0	448

広原地区及び谷和地区は、栗谷・大竹線路線バスの経路から集落が離れており、バスの利用が困難な状況となっていることから、地区住民の交通手段を確保するため、運行経費から運賃収入を差し引いた赤字部分について、運行事務を行う各自治会へ補助金を交付しました。

### 【制度の概要】

- 〔運行ルート〕
- ・ 広原地区～JR玖波駅～広島西医療センター～小方～市役所
  - ・ 広原地区～栗谷支所
  - ・ 広原地区～廿日市市(佐伯)方面
  - ・ 谷和地区～JR玖波駅～広島西医療センター～小方～市役所
  - ・ 谷和地区～栗谷支所

### 〔運賃(利用者負担金)〕

《広原・谷和地区から玖波方面》大人1人500円(片道)

《広原地区から廿日市市(佐伯)方面》大人1人300円(片道)

※小学生以下は半額、6歳未満は無料。

### 〔補助額及び補助対象〕

- ・ 区間及びタクシーの種類(中型、小型など)ごとに設定された料金をもとに、毎月の運行経費から利用者負担金を差し引いた不足分について、運行事務を執り行う各自治会に対して、補助金を支出します。
- ・ タクシー1台につき1人の乗車の場合は、原則補助の対象にはなりません。

### 【18年度の実施状況】

(単位：円)

	タクシー運行経費	利用者代金収入	市補助額
広原地区	446,500	165,000	301,500
谷和地区	240,500	94,000	146,500
計	707,000	259,000	448,000

### 【利用者数の推移】

(単位：人)

	16年度	17年度	18年度
広原地区	635	612	550
谷和地区	186	227	188
計	821	839	738

## 栗谷線・坂上線バス運行補助事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	11,513	2,811	0	0	8,702
17年度	9,891	545	0	0	9,346
18年度	14,351	1,239	0	3,612	9,500

《担当：市民課》

栗谷・松ヶ原地区住民の生活路線として大竹・栗谷線バスを、また、木野・川手地区住民の生活路線として坂上線バスを運行しており、バス運行事業者には、欠損額に相当する額を補助しました。

非常に厳しい運営状況にあるなかで、利用者の利便性向上を図るため、平成17年度に続いて平成18年度も路線の変更を行いました。利用がなかった大三郎口～後飯谷間を廃止するとともに、大竹駅行きを1便増便しました。

今後も随時見直しを行っていきます。

### 【事業の実施状況】

(単位：千円)

路線名	運行业者	運行経費	収入額	市補助(負担)額
大竹・栗谷線	(有)大竹交通	12,284	4,779	7,127
坂上線	(有)大竹タクシー	14,448	7,224	7,224

※大竹・栗谷線については、覚書で定めた額を補助しています。

※坂上線については、岩国市と共同運行しており、大竹市が運行业者に欠損額全額を支出し、岩国市は大竹市に対して、その1/2の額を負担金として支出する形をとっています。

### 【利用者数の推移】

(単位：人)

	16年度	17年度	18年度
大竹・栗谷線	14,585	12,563	12,939
坂上線	43,516	37,242	35,052
栗谷・飯谷線	1,403	—	—

## 離島航路運営資金支援事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	20,000	0	0	0	20,000
17年度	20,000	0	0	0	20,000
18年度	20,000	0	0	0	20,000

《担当：市民課》

阿多田島航路は、阿多田地区住民の通勤・通学・通院などの生活交通手段であるとともに、島内の水産加工製品の出荷をはじめ、各種公共工事に伴う作業や、釣り・各種イベントなどに伴う島外利用者の交通移動手段として必要不可欠なものです。しかし、近年は人口減少に加え、阿多田島への来島者も減少傾向にあり、航路の運営は非常に厳しい状況になっています。市では、安定した航路の維持のため、運営資金の融資を円滑に進めることを目的に、金融機関に預託を行っています。

### 【事業の実施状況】

〔預託先〕 広島県信用漁業協同組合連合会

〔預託期間〕 平成18年4月1日～平成19年3月31日

〔預託利率〕 なし

〔融資金額〕 43,500千円 (預託金20,000千円の4倍まで融資可能)

## 小型合併処理浄化槽設置補助事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	2,700	755	0	0	1,945
17年度	27,005	6,765	0	0	20,240
18年度	24,004	5,962	0	0	18,042

《担当：環境整備課》

公共用水域における水質保全をより一層推進するため、公共下水道及び農業・漁業集落排水区域以外の地域（栗谷町の一部及び川手地区）を対象に、「大竹市小型合併処理浄化槽設置事業補助金交付要綱」に基づき、平成4年度から合併処理浄化槽を設置するための補助金を交付しています。

平成17年度には、松ヶ原地区が公共下水道計画区域から外れ、本事業の補助対象地区になったため、松ヶ原地区への小型合併処理浄化槽の設置を進め、設置件数が大幅に増加しました。

### 【設置件数の推移】

(単位：件)

	16年度	17年度	18年度
5人槽	4	15	15
6～7人槽	0	20	15
8～10人槽	0	0	1

※住宅の延べ面積が130㎡以下の場合は5人槽とし、130㎡を超える場合は7人槽となります。浴室及び台所が2箇所ある住宅（2世帯又は大家族住宅用）については、10人槽相当とします。

## 資源回収実施団体助成事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	11,488	0	0	0	11,488
17年度	10,380	0	0	0	10,380
18年度	11,258	0	0	0	11,258

《担当：環境整備課》

家庭から排出されるごみの減量化と再資源化を促進し、生活環境の保全や循環型社会の構築を行うため、住民による資源の回収に対し、「大竹市資源回収実施団体報奨金交付要綱」に基づき、報奨金を交付しました。

この報奨金制度は、昭和63年度から開始され、以降収集カレンダーの「新聞・雑誌の日」を利用したシステム回収を実施するなど、事業の拡充に努めており、それに伴い資源回収実施地区が増加し、地域住民のごみ行政に対する意識が向上するとともに、自らの活動により自治会活動費を確保するという「協働のまちづくり」の浸透にも役立っています。

### 【事業の実施状況】

	16年度	17年度	18年度
登録団体数	83	84	84
実施回数	657	644	653
回収量(kg)	1,451,209	1,494,439	1,619,635

## 悪臭対策事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	3,303	0	0	0	3,303
17年度	2,513	0	0	0	2,513
18年度	1,605	0	0	0	1,605

《担当：環境整備課》

多数の工場などの施設を抱える大竹市にとって、工場などから発生する悪臭などへの対策は、快適な市民生活の維持に不可欠であることから、企業などの悪臭発生施設の臭気対策を推進しました。

### 【事業の実施状況】

(単位：件)

		16年度	17年度	18年度	
測定対象事業所数		6	6	6	
測定回数	発生源	7	6	5	
	敷地境界	12	8	6	
	排水中	4	2	2	
測定結果に基づく行政指導回数	発生源	(要望)	4	3	2
		(注意)	1	1	0
	敷地境界	(要望)	8	5	5
		(注意)	1	1	0
	排水中	(注意)	1	1	0
		(要望)	0	1	0
悪臭苦情件数	企業関係	3	4	8	
	その他	0	2	5	

※企業関係については、発生源が特定できないものも含む。

## 休日診療所運営事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	23,402	0	0	15,691	7,711
17年度	21,670	0	0	14,703	6,967
18年度	21,071	0	0	12,535	8,536

《担当：保健介護課》

市民が安心して暮らすための医療体制の整備の一環として、休日における急病者に対する診療及び応急処置（初期救急医療）を行う休日診療所を運営しています。

### 【科別受診者数の推移】

(単位：人)

	内科	外科	合計
16年度	1,519	426	1,945
17年度	1,412	411	1,823
18年度	1,324	361	1,685

**漁港施設の改修・改良事業(県営事業負担金)**

《担当：監理課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	63,735	0	62,300	0	1,435
17年度	54,100	0	52,200	100	1,800
18年度	34,733	0	32,400	0	2,333

県が管理する市内の漁港の改修・改良について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

漁港名称	事業内容	全体事業費	市負担率	市負担額
玖波漁港	地域水産物供給基盤整備 ・工事延長 L=129.2m 捨石工 $\Sigma V=1,118\text{m}^3$ 本体ブロック据付 312個 被覆ブロック据付 207個 外 ・地質調査業務 機械ボーリング 3箇所 ・測量・設計業務等	122,000	2/10	24,400
	漁港改良 ・消波工 L=16.0m ・消波ブロック製作工 N=67個 ・消波ブロック据付工 N=104個 ・緑地整備工 一式	6,000	1/3	2,000
阿多田漁港	地域水産物供給基盤整備 ・工事延長 L=49m 基礎捨石工 $V=1,823\text{m}^3$ L型ブロック製作・設置 8個 コンクリート舗装 $A=1,377\text{m}^2$ ・養殖岸壁(L=49m) 詳細設計・実施設計 ・本浦東 護岸設計	80,000	1/10	8,000
	漁港改良 ・養殖岸壁(L=49m) 詳細設計・実施設計 ・本浦東 護岸設計	1,000	1/3	333
	計	209,000		34,733

**主要地方道整備事業(県営事業負担金)**

《担当：監理課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	27,863	0	18,700	0	9,163
17年度	32,133	0	20,900	0	11,233
18年度	25,880	0	24,300	0	1,580

市内の県道の改修・改良などについて、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

**【事業の実施状況】**

(単位：千円)

路線名(地区名)	事業名	事業内容	全体事業費	市負担率	市負担額
主要地方道 大竹湯来線 (玖波)	道路改良	・工事延長L=176m 舗装面積A=1,520㎡ ガードレール(Co建込)L=81m ガードレール(土中建込)L=75m ・用地測量業務等	12,470	1/10	1,247
一般県道 栗谷大野線 (松ヶ原)	道路改良	・工事延長L=547.9m 土砂掘削V=1,640㎡ 軟岩掘削V=5,300㎡ 硬岩掘削V=2,280㎡ ・用地補償算定業務 ・用地買収,移転補償等	132,530	1/10	13,253
一般県道 栗谷大野線 (後原)	道路改良	・工事延長L=220m(2箇所合計) ・幅員W=5.5(7.0)m ・切土工V=1,710㎡ ・測量・設計業務等 ・用地買収,移転補償等	48,500	1/10	4,850
一般県道 栗谷河津原線 (広原)	道路改良	・工事延長L=65m 表層工A=414㎡,植生土のう工A=33㎡ ・工事延長L=698.3m 掘削工V=4,900㎡,法面工A=2,655㎡ 路盤工A=3,760㎡ ・工事延長L=738.8m 幅員=5.5(7.0)m,舗装工A=4,000㎡ 上層路盤工A=3,820㎡	48,300	1/10	4,830
主要地方道 岩国大竹線 (木野)	道路改良	・工事延長L=80m 幅員W=11.0(6.0)m 盛土工V=2,510㎡ 擁壁工V=36㎡ ・工事延長L=20m U型側溝L=12m,VP管据付L=23m, ・用地調査・設計業務等 ・用地買収,補償等	17,000	1/10	1,700
		計	258,800		25,880

## 砂防事業 (県営事業負担金)

《担当：監理課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	10,220	0	10,200	0	20
17年度	4,740	0	4,600	80	60
18年度	2,040	0	2,000	40	0

市内における急傾斜地対策などの県事業について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

地区名	事業名	全体事業費	市負担率	市負担額
木野1丁目	急傾斜地崩壊対策事業 (17年度繰越分) ・工事延長 L=74.6m 待受擁壁工L=74.6m(V=449m <sup>3</sup> ) 落石防止柵L=74m L型水路工L=73m (※17年度現年分含む)	20,400	1/10	2,040

## 農道水路補修事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	4,219	0	0	0	4,219
17年度	4,213	0	0	499	3,714
18年度	4,218	0	0	495	3,723

農繁期には、特に水田への水の必要性から、水路の補修・農道の草刈り・路面補修などが必要となり、農業従事者からも強い要望があることから、随時補修を行い、農業の生産性の向上と農業従事者の生活環境の整備を図りました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

事業内容(施行箇所)	工事費	事務費	計
大竹湯来線(松ヶ原)横断農水管布設工事外7件	3,999	219	4,218

## 市営外灯設置補助 事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	27	0	0	0	27
17年度	30	0	0	0	30
18年度	59	0	0	0	59

市営外灯が設置されておらず、夜間視界の悪い場所は、犯罪の発生を招く危険性があることから、犯罪の事前防止と市民の安全確保のため、新たに防犯灯を設置する自治会に対して補助金を交付しました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

	16年度	17年度	18年度
設置件数	2	1	3

※「防犯灯設置補助金交付要綱」に基づき、設置費の1/2(上限30,000円)を補助。

### 交通安全施設等整備事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	6,866	0	0	0	6,866
17年度	6,686	0	0	0	6,686
18年度	7,090	0	0	0	7,090

交通事故が多発する道路など、緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、防護柵・区画線・道路反射鏡などの交通安全施設などを整備し、交通事故の防止及び交通の円滑化を図りました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
松ヶ原町地内道路反射鏡設置工事外25件	6,721	369	7,090

### 道路照明整備事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	1,022	0	0	0	1,022
17年度	992	0	0	0	992
18年度	935	0	0	0	935

道路の線形の悪い区間、濃霧の発生しやすい区間、交差点・横断歩道など、交通事故が多発する恐れのある箇所に部分照明を設置し、交通事故の防止を図りました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
新町1丁目地内道路照明設置工事外2件	887	48	935

### 一般道路補修事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	13,711	0	0	0	13,711
17年度	13,713	0	0	0	13,713
18年度	11,545	0	0	0	11,545

道路の路面・排水施設・付属施設などの維持管理を行い、路面陥没など、緊急に交通の安全を確保する必要がある箇所について随時補修を実施し、交通事故の防止及び交通の円滑化を図りました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
玖波7丁目地内側溝補修工事外38件	10,944	601	11,545



### 小島潮遊池環境整備事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	1,865	0	0	0	1,865
17年度	4,400	0	0	0	4,400
18年度	1,550	0	0	0	1,550

本潮遊池は、公共下水道施設「小島雨水排水ポンプ場」の滞水池としての用途もありますが、潮遊池内に発生する水草が、自然流下による排水を阻害し、ポンプの排水機能を低下させる原因となり、その結果、上流域の浸水被害を招く危険性があることから、水草の除去作業を行い、潮遊池の環境保全を図りました。

自動除塵機での除去は困難なため、人力による除去作業を行っています。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
小島潮遊池環境整備工事(その1)外1件	1,469	81	1,550

### 一般河川(水路)改良事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	7,312	0	0	0	7,312
17年度	7,565	0	0	0	7,565
18年度	7,093	0	0	0	7,093

本市の河川・水路は本格的な改修が遅れている状況にあり、そのため環境の悪化が懸念されていることから、普通河川・一般水路・排水施設（ポンプ）の総合的な維持管理を行い、緊急度の高いものから随時部分補修を実施し、環境の改善を図りました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
木野2丁目地内水路内土砂撤去工事外20件	6,723	370	7,093

### 英語指導助手招致事業

《担当：総務学事課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	5,783	0	0	0	5,783
17年度	5,523	0	0	0	5,523
18年度	5,288	0	0	0	5,288

JETプログラム（「語学指導等を行う外国青年招致事業」）により、外国青年（英語指導助手）を招致することで、生徒の英語力及び国際感覚の向上と教員の指導力を強化し、外国語教育の充実を図るとともに、民間団体主催の英語スピーチコンテストの審査員やイベントでの自国料理の紹介などを行っていただき、地域住民との国際交流を推進しました。

## 小・中学校施設改善事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	59,233	0	0	0	59,233
17年度	21,509	0	0	0	21,509
18年度	20,478	0	0	0	20,478

《担当：総務学事課》

教育内容・方法の変化や、法令などに適合させ、教育環境の向上を図るために、教育施設の修繕・改修を行いました。

### 【事業の実施状況】

(単位：千円)

小学校				中学校			
修繕料		工事請負費		修繕料		工事請負費	
玖波小体育館ライン修繕	568	大竹小正門前雨水樹設置工事	252	玖波中家庭科室他無地カーテン工事	102	小方中図書館手すりネット張り工事	240
小方小受水槽漏水修繕	619	小方小体育館屋根防水補修工事	987	小方中渡り廊下照明工事	112	大竹中障害児教室給湯配管工事	126
小方小受水槽廻り配管修繕	234	大竹小調理室整備工事	3,307	小方中揚水ポンプ修繕工事	166	大竹中側溝補修工事	202
大竹小便所修繕	264	小方小給水配管引替工事	997	玖波中体育館ステージ修理	189	大竹中グラウンド緑石撤去工事	302
松ヶ原小遊具塗装修繕	118	大竹小消火配管取替工事	2,183	小方中屋内運動場屋根補修工事	203	小方中学校施設補修工事	1,470
大竹小ひまわり教室床修繕	472			玖波中パソコン教室障子カーテン工事	221	中学校その他小規模工事	206
大竹小受水槽用仕切弁取替修繕	198			小方中サッシレール交換修繕工事	265		
玖波小給水管漏水修繕	218			栗谷中プール濾過装置修繕	266		
玖波小国旗ポール修繕	242			大竹中体育館排煙オペレーター修理	314		
阿多田小教室床修繕	315			玖波中インターホン改修	336		
穂仁原小フェンス取替修繕	191			大竹中砂場改修工事	392		
大竹小理科室実験テーブル修繕	221			玖波中体育館ライン工事	498		
木野小校門横壁修繕	123			玖波中体育館内開閉式ロープ取替	123		
小方小漏水修繕	284			中学校その他小規模修繕	2,014		
小方小トイレ臭気改善修繕	158						
木野小黒板張替修繕	257						
木野小プールの過装置修繕	231						
玖波小プールの過装置修繕	292						
計	5,005	計	7,726	計	5,201	計	2,546

## 遠距離通学生徒用定期券購入事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	3,295	0	0	0	3,295
17年度	2,902	0	0	0	2,902
18年度	3,211	0	0	0	3,211

《担当：総務学事課》

玖波中学校に通学する松ヶ原地区の生徒及び小方中学校に通学する阿多田地区の生徒で、教育委員会が指定する交通機関を利用する生徒に対し、遠距離通学に伴う交通不便及び高額通学費を考慮し、乗車・乗船定期券を購入・支給しました。

### 【実施状況】

(単位：人)

地区名(学校名)	支給人数	学 年 別 内 訳		
		1年	2年	3年
松ヶ原地区(玖波中学校)	14	5	3	6
阿多田地区(小方中学校)	10	3	5	2
合 計	24	8	8	8

### 【支給人数の推移】

(単位：人)

	16年度	17年度	18年度
支給人数	21	21	24

## 小・中学校教職員 パソコン整備事業

**NEW!**

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	673	0	0	0	673

《担当：総務学事課》

従前、学校現場では教職員用のパソコンが整備されていない状況でした。仕事能率及び情報セキュリティ面を考慮し、18年度において、特に需要の高い校長・教頭・事務職員のパソコンを整備するとともに、平成16年度施行、17年度本格実施している学校事務センターにおいても、パソコンを増設しました。

【事業の実施状況】

(単位：台)

	学校名	パソコン設置台数			インクジェットプリンタ設置台数
		校長	教頭	事務職員	
小学校	玖波小	1	1	1	1
	松ヶ原小	1	0	1	1
	小方小	1	1	1	1
	穂仁原小	1	1	木野小と兼務	1
	阿多田小	1	0	1	1
	大竹小	1	2	2	1
	木野小	1	1	1	1
	栗谷小	1	1	1	1
中学校	玖波中	1	1	1	1
	小方中	1	1	1	1
	大竹中	1	1	1	1
	栗谷中	1	1	栗谷小と兼務	1
合 計		34			12
学校事務センター		事務用 1			

## 奨学金貸付事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	26,820	0	0	40,445	△ 13,625
17年度	24,285	0	0	33,769	△ 9,484
18年度	26,280	0	0	31,077	△ 4,797

《担当：総務学事課》

扶養者が本市に居住し、優良な生徒などであって、かつ経済的な理由により就学困難な者を対象に、大竹市奨学金貸付審議会に諮って学資の貸付を行い、有用な人材の育成を図りました。

【実施状況】

〔貸付人数〕 ・新規貸付者：16人  
・継続貸付者：45人 (計：61人)

〔選定方法〕 主に申請者の学業成績、世帯の経済状況を選定の基準として、大竹市奨学金貸付条例に基づき、大竹市奨学金貸付審議会への諮問を経て市長が選定

【貸付人数の推移】

	16年度	17年度	18年度
新規貸付者(人)	20	14	16
継続貸付者(人)	47	44	45
計	67	58	61

## 就学前教育充実事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	9,399	2,517	0	0	6,882
17年度	10,795	2,560	0	0	8,235
18年度	10,312	2,739	0	0	7,573

《担当：総務学事課》

本市に居住する3～5歳児が就園する私立幼稚園の設置者が、園児の保護者の所得に応じて入園料及び保育料を減免する場合、大竹市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づいて補助金を交付し、就学前教育の充実と幼稚園教育の振興を図りました。

## 学校教育推進事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	2,026	0	0	0	2,026
17年度	2,005	0	0	0	2,005
18年度	1,940	0	0	0	1,940

《担当：総務学事課》

市内小・中学校の教職員の校内研修の充実や、児童・生徒の各種体育競技大会及び文化活動関係大会参加に対する補助など、様々な観点から学校教育を推進していくための事業を実施しました。

### 【実施状況】

#### ●教職員研修充実事業（290千円）

教職員の専門性・知識・指導力などの向上を図るための研修を充実させるとともに、授業内容や方法、教育における諸問題などについて、教職員同士が協同的活動を通じて深く掘り下げて追求し、自己研鑽を行うための校内研修を実施しました。

#### ●児童・生徒の各種体育競技大会及び文化活動関係大会参加補助事業（1,650千円）

児童・生徒の体力向上や、学校教育における体育・音楽教育の振興、保護者負担の軽減を図るために、市外で開催される各種体育競技大会及び各種文化活動関係大会への市内小・中学校の児童・生徒の参加に要する経費に対して補助金を交付しました。

〔補助率〕 対象経費の5.5/10

# 平成18年度特別会計主な施策の成果

## 港湾及び漁港管理受託特別会計

### 港湾施設補修事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	1,935	0	0	1,935	0
17年度	2,010	0	0	2,010	0
18年度	2,103	0	0	2,103	0

《担当：土木課》

地方港湾大竹港の港湾施設の適正な管理及び港湾の利用を増進するため、修復を要する箇所などにおいて補修工事を実施しました。港湾施設の管理は「広島県と大竹市との間における港湾管理事務の事務委託に関する規約」により行っています。

#### 【実施状況】

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
大竹港線ガードレール設置工事外1件	1,993	110	2,103

### 漁港施設補修事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	2,003	0	0	2,003	0
17年度	543	0	0	543	0
18年度	1,886	0	0	1,886	0

《担当：土木課》

玖波漁港及び阿多田漁港の適正な管理及び維持・保全を行うため、修復を要する箇所などにおいて補修工事を実施しました。漁港施設の管理は「広島県と大竹市との間における港湾管理事務の事務委託に関する規約」により行っています。

#### 【実施状況】

事業内容（施行箇所）	工事費	事務費	計
玖波漁港外灯取替工事外5件	1,788	98	1,886

# 土地造成特別会計

## 大願寺地区造成事業

《担当：土木課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	1,213,585	0	1,213,500	0	85
17年度	2,587,133	0	2,351,300	0	235,833
18年度	※ 691,977	0	0	0	691,977

※うち684,848千円は償還金利子及び割引料（地方債償還金、償還金利子及び一時借入金利子）です。

慢性的な住宅地不足の解消、人口増対策として、大願寺地区に宅地を造成し、また宅地造成地内から発生する建設土を広島県施行の大竹港東栄地区港湾整備事業の埋立土に利用する事業を進めてまいりましたが、平成15年度に実施した「宅地需要調査」において、計画通りの分譲は厳しいことが判明したため、事業全体の見直しを行うこととしました。その後、平成16年度に実施した「企業立地調査」において、商工業団地としての適性があるとの結果を踏まえ、平成17年度に商工業団地への用途変更を決定しています。

### 【18年度の実施状況】

- 18年度中にベルトコンベア（土砂搬出施設）の撤去を行う予定でしたが、撤去費用の低減に向け、引き取り先を探しました。

（陸上部については、平成18年度末に引き取りの検討先から断念の回答を受けたことなどにより、撤去処分工事の工期を19年度まで延伸しました。

また、海上の上部については、引き続き引き取り協議を進めるとともに、下部の撤去方法並びに利活用の検討を行いました。）